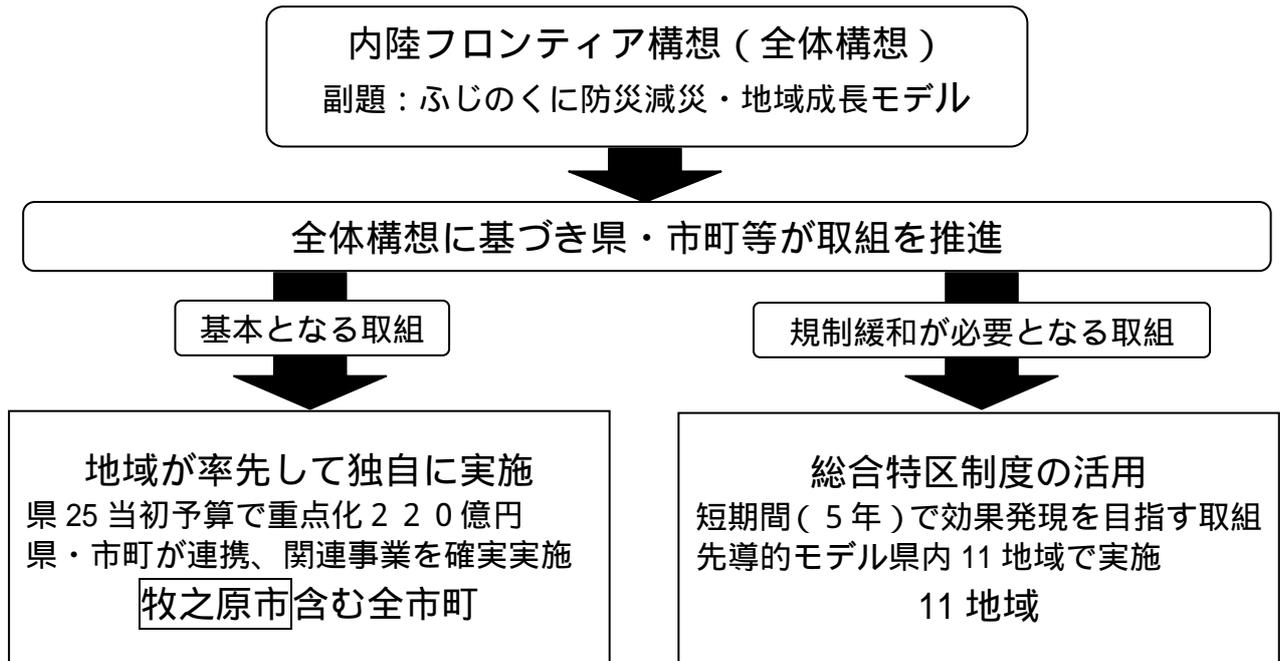


津波防災まちづくり事業（都市防災総合推進事業）について

1 静岡県の内陸フロンティア構想について



2 事業概要

市は、駿河湾に面して 15km の海岸線を有し、平成 24 年 8 月 29 日に公表された「南海トラフ巨大地震による津波高・浸水域などの被害想定」では、最大震度 7、最大津波高 14m、浸水区域は市民の約 43% が住む 10.4 km²とされ、津波に強いまちづくりが最重要課題となっている。

このため、市内全域を対象に防災力強化を図るワークショップの開催、津波ハザードマップの作成を実施し、市民における防災意識の向上を推進する。

また、津波被害から市民のいのちを守るため、津波避難施設（タワー、防災公園）、避難路、市防災センターの整備をはじめ、避難所生活の安心を確保する非常電源の確保、教護所、防災倉庫の設置などを図る。

3 計画内容

- (1) 事業主体 牧之原市
- (2) 施行期間 平成 24 年度～平成 28 年度
- (3) 総事業費 28.58 億円

- (4) 事業概要 津波ハザードマップ式
津波避難タワー 8 箇所、防災公園等 3 箇所、避難路 3 路線、
救護所 2 箇所、防災センター、避難所への非常電源確保
25 箇所、防災倉庫 21 箇所
- (5) H24 末進捗率 1.7% (総事業費ベース)
- (6) H25 事業費 2.64 億円 (津波ハザードマップ、避難施設 2 箇所など)
- (7) H26 以降事業費 25.02 億円

津波避難タワーイメージ図

